

【活用にあたって】

この単元のねらいの中に「我が国の水産魚の様子に関わる関心をもち、水産業が盛んな地域の生産活動について意欲的に調べること。水産業に従事している人々の工夫や努力を理解すること。」が示されています。それを、できるだけ地元の水産業に注目して学ぶことに、この学習の真意があると思います。

教科書では「遠洋」と「沖合」と「つくり育てる漁業」という扱いですが、この記事は「沿岸漁業」を取り上げていること、浜松特有の「たきや漁」を取り上げていること、それらの点からも、いつもより広く深い学びが期待できると思います。

解答例 問1 : 明治

問2 :

たきや漁(船の上から水中で浅瀬を照らしてもりで突く)

シラス漁(二艘一組で網を引き、水揚げして氷で冷やす)

問3 :

やりがい(船で見る朝焼けは何度見てもきれいなこと)

苦勞(船は波で大きく揺れる。今年は悪天候が多く、

何度も船酔いしたこと)

発展 : 遠洋トロール漁 ・ はえ縄漁 ・ 底曳き網漁 ・

定置網漁など